

平成 23 年 12 月 5 日

多変量モデリング 学期末レポートについて

芳賀麻誉美

平成 24 年 1 月 16 日（月）の最終授業までの間に、課題 1 または課題 2 のレポートを提出すること。
なお、どちらの課題も構造方程式モデリングを必ず使って分析を行うこと。使用したソフトは明記せよ。
（可能であれば、「多母集団モデル」または「潜在曲線モデル」で分析を行う）

課題 1.HP (http://www.mayomi.org/lecture01/Modeling/modeling_01.HTML) に掲載している生活調査 2004 のデータを利用して、自由にモデリングを行い、レポートを作成せよ。

体裁は下記のとおりとする。

- 1.分析の着目点、目的
- 2.使用した変数一覧（再加工した場合には、その方法を明記）
- 3.予備解析結果（データモニタリングとして事前に行った分析結果を記載する。ヒストグラムや散布図、多変量連関図などのほか、主成分や探索的因子分析など）
- 4.本解析結果

この部分には、最低限、下記の項目は記載すること。

- (1) モデル（モデル図または方程式の提示）
- (2) 適合度
- (3) 推定値
- (4) 考察

その他、因子得点などを算出した場合などは、適宜報告すること。

- 5.まとめ

課題 2.自分で収集したデータ、または先行研究データに基づき、自分のオリジナルなモデリングを行い、レポートを作成せよ。

体裁は、下記のとおりとする。

- 1.分析の目的
- 2.使用したデータ
 - ①相関係数行列＋各変数のデータ数・平均・分散 または ②分散共分散行列と各変数のデータ数のいずれかを掲載する。
- 3.予備解析結果（データモニタリングとして事前に行った分析結果を記載する。ヒストグラムや散布図、多変量連関図などのほか、主成分や探索的因子分析など）
- 4.本解析結果

この部分には、最低限、下記の項目は記載すること。

- (1) モデル（モデル図または方程式の提示）
- (2) 適合度
- (3) 推定値
- (4) 考察

その他、因子得点などを算出した場合などは、適宜報告すること。

5. 先行研究で使われているモデルへの比較
6. まとめ
- 7.参考文献